



レストハウスは今年度の営業を終了しました

旭山記念公園レストハウスは、11月4日をもって今年度の営業を終えました。
期間中は多くみなさまにご利用いただきありがとうございました。
来年度はゴールデンウィーク前の4月下旬オープンを予定しております。
噴水も10月31日に運転を終了、こちらも来年度4月下旬再開予定です。
旭山記念公園は冬の間も開園しております、引き続きご利用のほどよろしくお願いします。

今年の紅葉はきれいでした

今年の旭山記念公園の紅葉はきれいでした。



↑ 旭山でいちばんきれいなヤマモミジ 10/29
→ 第1駐車場入口のヤマモミジ 10/27



↑ ハウチワカエデ「しもやけ」の葉 10/25
↓ シラカンバとナナカマドの紅葉 10/27



↑ 展望台の
一本桜 10/20

← 藻岩山を
望む 11/3

↓ 円山を望む
10/27



秋は早足。
きれいな紅葉を
楽しんでいるう
ちに立冬を過ぎ
てしまいました。
来年の紅葉が今
からもう楽しみ
ですね。



旭山野鳥メモ ⑨ヒヨドリ

ヒヨドリ Brown-eared Bulbul *Hypsipetes amaurotia* スズメ目ヒヨドリ科
人気がない鳥、かわいそうなくらい・・・野鳥観察会でもあまり喜ばれない。
しかしヒヨドリは元々森林とその周辺の里山に住む鳥。

1960年代高度経済成長期に市街地に進出し「街の鳥」として定着。

だから、本来のすみかである森にいるのはむしろ当たり前。

ヒヨドリは、きれいな色であれば人気があったかもしれない。

ヒヨドリは日本列島とその周辺(韓国南部、台湾、フィリピンなど)だけに
生息する世界的には珍しい鳥。欧米から来た鳥が好きな人は、東京の街中
でヒヨドリを見ると喜ぶのだとか。ただし、あまりにもたくさんいるので、そのうち飽きるかもしれないが・・・

ヒヨドリは木の実が大好き。桜、ミズキ、ヤマブドウ、ヤドリギ、ナナカマドなど、目につく木の実はおおよそ
すべて食べるといういい。ただし他の鳥が来ると追い払ってしまうのが、やっぱり人気がないところか。

そんなだから、ヒヨドリは漢字で「鶇」、「卑しい」という字をへんにあてられている(かわいそうに)。

だけど、もしこの街にヒヨドリがいなかったら、やっぱり寂しいのでは・・・ヒヨドリは街を明るくしてくれる。

そしてヒヨドリは今日も、夜明け前から大きな声で鳴き叫んでいる。



11月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

★ヒレンジャク=10月29日この秋初めてヒレンジャクを確認。12羽の群れ。11月5日にはその群れに
キレンジャクが3羽混じっていました。ヒレンジャクは例年1月上旬まで見られますが今年はどうか。

★イスカ=11月7日に今年初めて雄1羽確認。翌日は群れを観察。

昨年、一昨年と通過だけでほとんど見られず、今年はどうか。

★キクイタダキ=見られる機会が増えてきています。

昨冬はほぼ毎日見られましたが、今年も同様に見られそうです。

★キバシリ=今年は見られる機会が多いです。

★ツグミ=11月2週目から数が増えてきました。

★ルリビタキ=11月上旬まだいました。いつまで見られるでしょうか。

★クマゲラ=園内でも時々見られています。

★ヤマゲラ=こちらもほぼ毎日園内どこかで声が聞かれています。

★シマエナガ=森の家の周りに1日数回来るようになってきました。



イスカ雄↑

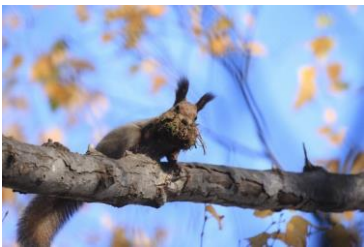
旭山ミニ生き物図鑑 2019年11月

巣材をくわえた(?)エゾリス

10月下旬まで見られたアキアカネ

越冬前のオオスズメバチ

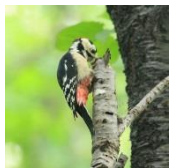
毎年最後に咲くエゾノコンギク



編集 後記

「アナグラム」"anagram"とは、ある言葉に使われている文字の並び順を変えると別の言葉になるというもので、例を挙げると「アカゲラ」と「カラアゲ」。

今まで5年以上「アカゲラ通信」を作ってきましたが、これが、アナグラムにより「カラアゲ通信」になるとは、気づいていませんでした。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第74号 2019(令和元)年11月10日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyaai/>